

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2024年2月号

能登半島地震救援募金にご協力を

24年元旦の能登半島地震から1ヶ月。「人命救助と被災者支援」をと全国で取り組んでいます。

党大分市議団も中部地区委員会と1月4日から被災者救援募金活動にとりこんでいます。



日々震災の被害が拡大しています。地震・液状化による地盤の隆起・陥没による港の損壊、家屋の倒壊、道路寸断、がけ崩れは広範囲に広がり、現地の窮状は計り知れません。1日も早い復旧・復興のための救援募金にご協力を訴えます。

←(救援募金を訴える党議員団)

市政懇談会が開かれまして

2月4日(日)、アートプラザ研修室で開催されました。

参加者からは「水産業の温暖化対策」「市営住宅の老朽化対策」「物価高騰に見合う年金引き上げ」「災害対策」など発言がありました。



ご参加と貴重なご意見・ご要望ありがとうございました。

大分市民の1年間の予算を審議する大分市議会第1回定例会は、3月4日に開会します。みなさんの声と願いを届けます。

(報告する福間)

23年度大分市議会第4回定例会での市職員の増員、会計年度任用職員の処遇改善についての質問要旨を紹介します。

市職員の増員を

- 講演会での「市職員は多すぎる」との市長発言の真意は。
- 新型コロナウイルス感染拡大で保健・医療の脆弱性を痛感させられました。また日常の介護・障害・生活保護などの業務に携わる職員不足を感じている。増員は急務。
- 教職員の慢性的な不足も、緊急に解消が求められている課題です。産前産後休暇、育児休業、病気休暇、病気休職などの代替教員配置もままならない状況、早急な対応を

会計年度任用職員の処遇改善を

- 恒常的な仕事は正規公務員が担うことを原則とすると

もに、現にその仕事に長年従事してきた非正規公務員が希望する場合には、正規公務員への採用の道を開く改善をおこなうこと。

- 安心して長く働き続けられるように「公募ルール」を廃止し、公募は新規採用に限定するなどの改善を。
- 非正規職員の時給をただちに1500円に引き上げを。
- 各種手当は正規職員と同等に支給できるよう改善を図ることなどを求めました。

移住・定住対策で行政視察



1月29日から31日の3日間、福知山市・米子市の先進地研修に参加しました。

←(福知山城)

ミサイル保管庫問題を考える講演会



(講演する小泉氏)

1月28日、保険医会館ホールで開催されました。日本共産党平和・基地対策担当の小泉親司さんが「戦争の準備ではなく、平和の準備を」と講演されました。

排水対策の側溝が整備されました



大雨の際浸水地域のみなさんからの要望は、1月中旬に工事が終了しました。喜びの声が届きました。

←(東八幡地区)

盛り土の現地調査



大在地区の盛り土造成地の「斜面が崩れる恐れあるのでは」「盛り土帯に排水がない」などの心配の声が寄せられ、現地を調査。

←(大在地区)

暮らし・地域の要望をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

